

【トレーニング・プログラムの内容】

※インストラクターはMFA講習プログラムのBASICPLUSコースの訓練を修了し、プロの応急手当指導員としての資格を有しています。

※MFAはメディック・ファースト・エイド®の略称です。

MFAは救急医療の先進国、アメリカで25年以上も前に誕生した一般市民レベルで救急車が到着するまでの『**魔の6分間**』にできることを体得するための**応急救護の手当ての訓練プログラム**です。国連の関連組織である世界安全機構(WSO)の推奨を受けて世界140カ国以上で普及しています。MFAが採用している救急医療ガイドラインはAHA(アメリカ心臓学会)、全米職場の応急救護訓練ガイドラインそして日本救急医療財団の下部機関である蘇生委員会などの最新発表のものです。

★トレーニング・プログラムの進め方

緊急事態に必要な知識とスキルをビデオ(DVD)を観ながら講習の項目ごとのデモンストレーション、グループ練習を行います。

☆プログラム項目

1. 初期(緊急事態発生)の評価
 - ・SETUP(安全の確認)
 - ・バリア(保護用具)を使う
 - ・意識のチェック
 - ・通報
 - ・気道の維持
 - ・呼吸、循環のチェック
2. 心停止のCPR(レスキュー呼吸)
 - ・レスキュー呼吸と胸部圧迫
3. AED(自動対外式除細動器)の使用
 - ・AEDの操作
4. その他
 - ・チョーキング(のど詰まり)

